

授業改善推進プラン＜技術・家庭＞

1 指導目標

- ・コンピュータやソフトウェア等情報機器の基本的な取り扱いと利用の仕方やものづくりの技術を習得させることを通して、生活を工夫し創造する能力を育成する。
- ・健康的な家庭生活を営むために、生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得させるとともに、生活を創造する姿勢を育成する。

2 平成25年度における考察と課題

- ・コンピュータの基本操作やソフトウェアの利用の仕方を通じ、情報を活用する能力は身につけてきたが、情報を表現させたり、工夫して加工させることが出来なかったことが課題である。
- ・ものづくりにおいては、作業はよく取り組むが工夫して作業をしたり、創造性をかりたてることができなかった。
- ・生活に必要な衣食住の基本的な事柄については、ある程度達成できたが、なかなか興味や関心を持たせるのに時間がかかり発展に苦慮した。
- ・コンピュータの基本操作については身につけてきたが、応用的な操作を個に応じて取り入れていきたい。

3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- ・基礎基本の定着という目標に対して、興味、関心、課題を持たせることに**時間がかかっている**ので言葉かけや資料の活用重点を置き、板書の工夫や体験的な活動に力を入れる。
- ・作業や実習をとおして、自ら学び、確かめさせることを発展的内容の導入とし、取り組む。

4 評価の工夫

観点項目	観点項目の趣旨	おもな評価内容
生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術に対して関心を持ち意欲的に取り組んでいるか。また、授業や実習時の態度が良好であるかなどを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・提出物 ・観察 ・グループでの相互評価 ・その他
生活を工夫し創造する能力	生活をより豊かなものにするために、進んで工夫し、創造する能力が身についているかを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業等の観察 ・プリント、ノート等 ・作品 ・自己評価 ・その他
生活の技能	生活に必要な技術・技能が身についているかを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技 ・観察 ・作品 ・その他
生活や技術についての知識・理解	生活に必要な知識を身に付け理解しているかを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期テスト